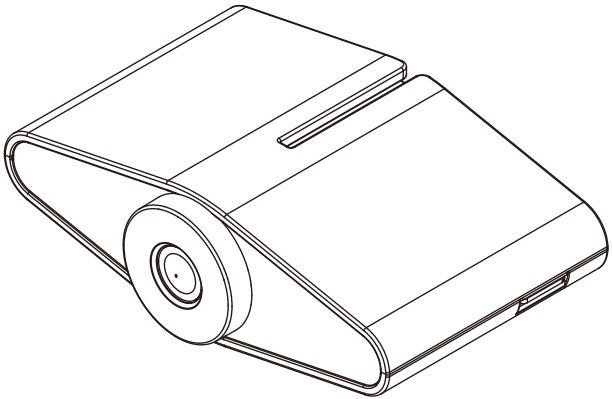
Dream Ware

Drive PRO

V2-HD1

取扱説明書

ご使用の前に本取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。事故防止など安全のために、注意事項は必ずお守りください。お読みになられたあとは、大切に保管してください。



目　次

本製品の特長 —— 03
安全上の注意事項 —— 04
製品の構成 —— 06
取り付け方法 —— 07
取り付け上の注意 —— 08
動作確認を行う —— 09
録画する —— 10
- 録画の準備 …… 10
- 音声録音 …… 10
- 録画終了 …… 10
- 常時録画 …… 11
- イベント録画 …… 11
- 駐車モードで録画 …… 12
- 録画内容をリアルタイムで見る …… 13
- リアカメラを使う …… 14

microSDHCカード —— 15
- microSDHCカード使用時の注意事項 …… 15
- microSDHCカードのエラーとフォーマット …… 15
- 保存容量別のファイル生成数 …… 16
- 常時録画ファイルとイベント録画ファイル …… 16

ボタン動作･音声案内･LEDランプ一覧表 —— 17
専用ViewerをPCにインストールする —— 18
専用Viewerの使い方 —— 19
- ファイルを再生する …… 20
- 地図との連動 …… 21
- 2チャンネル機能 …… 22
- 3Gセンサーのデータ分析 …… 23
- 再生画面の印刷、画像の保存、動画の保存 …… 23
- 環境設定と反映の仕方 …… 24

ソフトウェアのアップデート —— 25
製品仕様 —— 26
保証書 —— 27

本製品の特長

本製品は追突、衝撃、急発進などの車両事故発生時に映像、音声、位置などの情報を保存し、事故の原因を分析したり、ドライブの思い出を記録したりする装置です。専用viewerを使って録画された映像をパソコンで再生することができます。

GPSと連動した高画質録画とリアカメラ増設によるマルチ画面録画

GPSセンサーを利用して、車両の走行位置、速度、3Gセンサー情報などのデータを取り込みながら、200万画素の高画質で録画ができます。音声録音のオン･オフの切替えもできます。microSDHCカードのデータがいっぱいになると、古いデータから上書き保存していきます。またリアカメラ（別売）を増設することでマルチ画面での録画も可能になります。

衝撃発生時の映像の自動保存（イベント録画）

3Gセンサーが事故や急ブレーキ･急ハンドルなどの衝撃を受けると、イベントとして別ファイルとして保存します（イベント録画）。衝撃検知時前後のみを録画するのではなく、常にリアルタイムで録画を行い、常時録画とイベント録画に分けていますので、安定性のある録画が確保できます。また手動のボタン操作でイベント録画をすることもできます。

本体操作時にわかりやすい音声案内

本体操作時に『GPS情報を受信しました』『音声録音を終了します』などと音声で案内をしてくれるので、簡単に操作ができます。

専用viewer（ビューアー）によるデータの再生

専用のviewerを使うことで、保存データを再生することができます。マップを利用した車両位置、3Gセンサー情報を確認できます。

安全上の注意事項

ご使用の前にこの「安全上の注意事項」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
またお読みになられたあとは、大切に保管してください。

⚠ 警　告

●本製品は絶対に分解･改造したり、水につけたりしないでください。火災･感電･故障の原因になります。

●本製品は運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。また、エアバックなど自動車の機能の妨げにならない場所に取り付けてください。自動車事故や、故障の原因になります。

●万一、破損した場合は、すぐに使用を中止してください。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

●運転者は走行中に本製品の操作をしないでください。前方不注意による事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。また手動でイベント録画をする際は、周囲の安全を十分確認した上で素早く操作してください。

●取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。

⚠ 注　意

●製品に無理な衝撃を加えたり、異物を差し込んだりしないでください。発火や故障の原因になります。

●製品のフォーマット中、アップデート中は、電源を切ったり、microSDHCカードを抜いたりしないでください。致命的なエラーを引き起こす可能性があります。

●microSDHCカードは一方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。

●必ず専用の電源ケーブルをお使いください。また電源は車内のシガーソケット以外は使用しないでください。

●本製品はGPS機能を有しています。他のエレクトロニクス製品と干渉しないようご注意ください。またGPSが受信できる位置に設置してください。

⚠ 注　意

●車種によっては、キーを抜いても、シガーソケットから電源が供給され、バッテリー上がりの原因となります。このタイプの車に取り付ける場合は、エンジンを切ってから、必ず本製品をシガーソケットから取り外してください。

●LED信号機は、目に見えない速さで点滅しているため、記録画像の信号が高速点滅して映る場合があります。LED信号機が映らない問題に関して、当社は一切の責任を負いかねます。

●microSDHCカードを抜くときは必ず電源が切れていることを確認してください。記録中にmicroSDHCカードを抜くと、データが紛失する恐れがあります。

●本製品は使用方法に間違いがなかった場合でも、画像やデータの記録を完全に保証するものではありません。本体に保存されたデータの消去、破損について当社は一切の保証をいたしません。

●記録された画像や音声は、法的手続きにおいて、事故の参考記録として有効に使用いただくことができますが、直接的証拠として採用が保証されるものではありません。

●日本国以外では使用しないでください。

●本製品の仕様は、改良のため予告なしに変更することがあります。

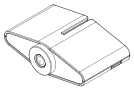
⚠ 取扱上の注意

●本体の汚れは柔らかい布でふき取るか、中性洗剤を薄めた水で湿らせた布をよく絞って拭きとってください。

●カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。乾いた固めの布などでふくとキズの原因になります。

製品の構成

■ 内容物の確認　はじめに内容物が揃っているか確認してください。



本　体
1台

ブラケット
1個

電源ケーブル（4m）
1本

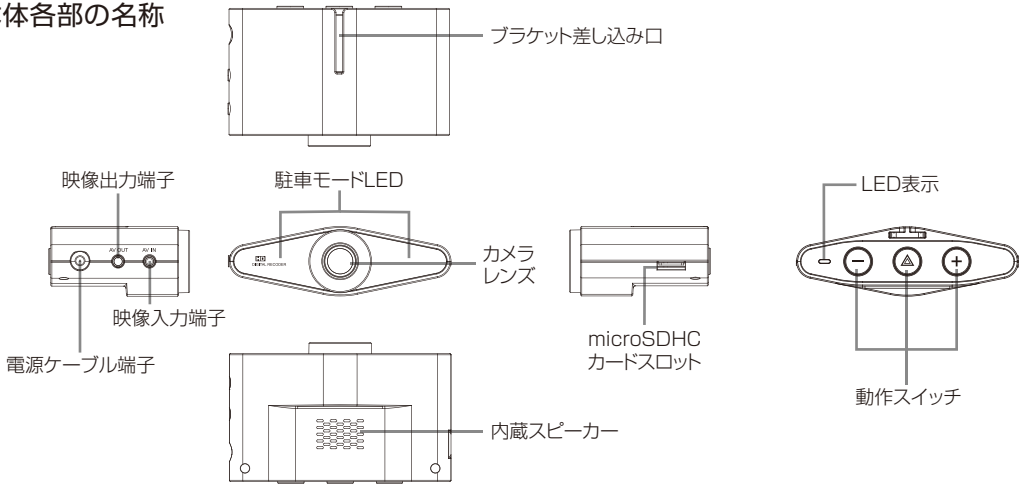
配線クリップ
8個

microSDHCカード
1枚（16G）
（本体に挿入されています）

SDカードアダプター
1個

取扱説明書
1冊

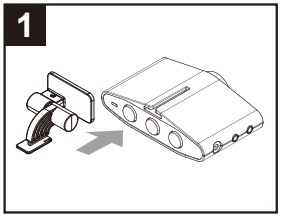
■ 本体各部の名称



取り付け方法

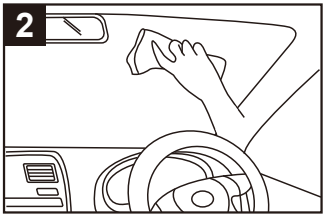
エンジン／電源をOFFの状態で行ってください。

1



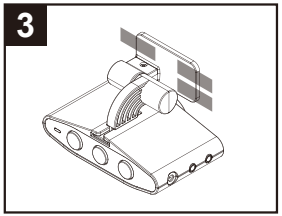
本体裏面の差し込み口に図のようにブラケットを矢印の方向に差し込んでください。

2



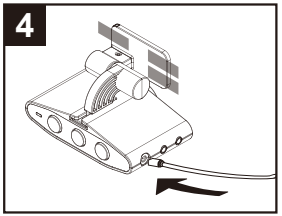
ブラケットを取り付ける窓ガラスの上に異物がつかないようにきれいに拭いてください。
フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けください。

3



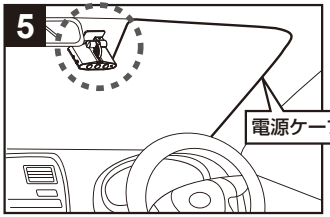
本体が図のように逆さまになるようにして、セロハンテープなどで**仮止め**してください。**この段階ではまだ両面テープを使わないでください。**

4



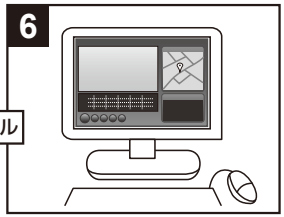
電源ジャックに電源ケーブルを差し込みます。また、(+)(−)(△)ボタンが押しやすいかどうかを確認してください。

5



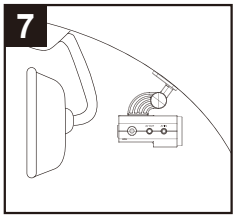
電源ケーブルを助手席（または運転席）側のフロントガラス枠周辺にはめ込み、配線クリップで整理し、シガーソケットに差し込んでください。

6

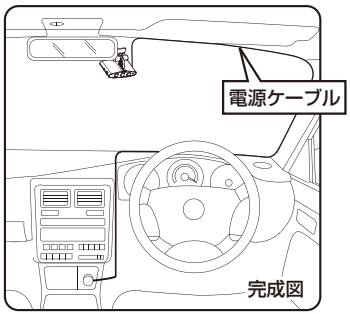


お手持ちのPCで09ページにあります「動作確認を行う」を行ってください。

7



映像を見てカメラ位置を微調整後、**両面テープでしっかりと取り付けてください。**



取り付け上の注意

1. デフォッガー（熱線）上に取り付けると、取り外し時にシールの粘着力によりデフォッガーを剥がす恐れがありますので、デフォッガーの上には取り付けないでください。

2. フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。

3. ワイパーのふき取り範囲内に取り付けてください。
   範囲外の場合、降雨時にきれいに録画できない場合があります。

4. エアバッグの動作や運転の妨げにならないように、取り付けてください。

5. 本体の天地を逆にして取り付けないでください。映像が逆になります。

6. 揺れのないようにお取り付けください。
   ガタつき、揺れがあると、3Gセンサーが過度に反応することがあります。

7. コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因になります。

8. 車検証ステッカーなどに重ならないように取り付けてください。

動作確認を行う

初めて起動するときに、下記の手順に従って動作確認を行ってください。

1. 07ページの取り付け方法【1】～【5】を正しく行ってください。

▼

2. 付属のmicroSDHCカードが挿入されていることを確認してから、エンジンを入れてください。紫色のランプが点灯し、『システムを開始します』という音声と、『GPS情報を受信しました』という音声が流れることを確認してください。

▼

3. 数分間録画した後、エンジンを切って、『システムを終了します』という音声が流れ、LEDランプが消灯したことを確認してから、microSDHCカードを抜いて、映像が記録されていることをパソコンで確認してください。
   → 専用viewerの使い方19ページ参照

※取り付け場所によっては、GPSを受信しにくい場所がありますので、仮止め位置を変更し、再度テストをしてください。

録画する①

録画の準備

1. 本体にmicroSDHCカードを差し込んだ状態でエンジンをかけると、紫色のランプがつきます。
2. 電源ケーブルを差し込んで約10秒後に動作準備が完了すると、『システムを開始します』という音声案内が流れ、映像録画が開始されます。
3. GPS情報がきちんと受信されると赤色のランプがつき『GPS情報を受信しました』と音声案内が流れ、受信されていることを確認できます。受信されていない場合は、赤色のランプが点滅します。

※地下駐車場などGPS情報が受信できない場所から走行させると、地上に出てから、GPS情報を受信するまでに時間がかかる場合があります。

音声録音

1. 音声録音の使用　音声録音の解除状態で(+)ボタンを3秒以上押すと、『音声録音を開始します』という音声案内が流れ、録音を開始します。**初期設定時は音声録音OFFになっています。**
2. 音声録音の解除　音声録音使用中の状態で(+)ボタンを3秒以上押すと、『音声録音を終了します』という音声が流れ、録音を終了します。

録画終了

エンジンを切ったり、シガーソケットから電源を抜くと、『システムを終了します』という音声が流れ、紫色のランプがつきシステムが終了します。**microSDHCカードを抜く場合は、ランプが完全に消えてから抜いてください。完全に消えてから抜かないと、データが破損する恐れがあります。**

録画する②

常時録画

『システムを開始します』という音声が流れると自動的に録画を開始します。通常の走行はすべて常時録画として保存されます。常時録画ファイルはmicroSDHCカードのRECフォルダに保存され、1ファイルは約1分間のデータを記録します。ファイルが10個になると自動的に次のフォルダを生成します。

イベント録画

1. 自動イベント録画　常時録画中に、3Gセンサーが検知した衝撃量が一定の値を超えると、『♪ティロリロリン』というメロディが流れ、イベント録画を開始します。3Gセンサーが検知する感度は10段階で調整できます（17ページ参照）。イベント録画は、イベント発生時点の前後15秒、計30秒をイベントファイルとしてEVENTフォルダに保存され、ファイルが10個になると自動的に次のフォルダを生成します。

※高速道の道路の継ぎ目などを走行する際は、3Gセンサーが衝撃を頻繁に検知し、イベント録画が連続する場合があります。また車種により衝撃の度合いが異なります。必要に応じて、3Gセンサーの敏感度を下げてお使いください（17ページ参照）。

2. 手動イベント録画　本体の△ボタンを一度短く押すと、『♪ティロリロリン』がというメロディが流れ、イベント録画を開始します。また、手動でイベント録画をする際は、周囲の安全を十分確認した上で素早く操作してください。

録画する③

駐車モードで録画

1．自動駐車モード録画　車両が一定時間（viewerの環境設定で設定した時間）動きがないと、自動的に駐車モードに入り録画します（駐車モードに入ると「駐車モードで録画します」と音声案内が流れます）。初期設定では駐車後約10分後に駐車モードがスタートします。駐車モードを開始すると本体前面のLEDが点滅します。駐車モード録画では、モーションディテクト機能を採用しており、撮影映像に動きがあったときだけ録画します。何も変化のない場合は録画しないので、microSDHCカードの容量節約になります。また、駐車モード時に3Gセンサーが車体の振動や衝撃を感知すると、イベントモードに切り替わって録画します。駐車モード録画は、30秒～1分程度のデータを記録し、microSDHCカードのPARKINGフォルダへ保存されます。ファイルが10個になると自動的に次のフォルダを生成します。

例）駐車モードで撮影時に、カメラの撮影映像に一切変化がなければ、録画データは残しません。撮影中に人が前を横切ると、モーションディテクト機能が働き、撮影を開始します。

2．手動駐車モード録画　手動で（ー）ボタンを3秒以上押すと、駐車モードで録画します。もう一度（ー）ボタンを3秒以上押すと、駐車モード録画を解除します。手動で駐車モードに入る場合は、再起動または手動で解除をするまでは自動解除されませんのでご注意ください（17ページ参照）。

※シガーソケットの常時電源タイプについて

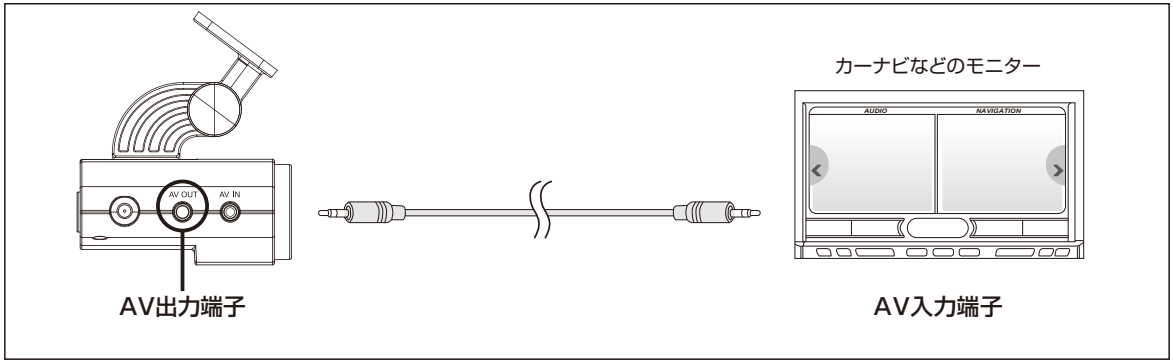
一部車種では、エンジンを切ってからもシガーソケットから電源が常時供給されるものがありますが、この車種では、車両のバッテリーが11.8V以下に落ちると、ドライブレコーダーの電源を自動的に遮断し、車のバッテリーの放電を防ぐシステムを内蔵しています。

※車上荒らし対策

エンジンを切ってからもバッテリーが続く限りは、駐車録画モードが起動しているため、車上荒らしなどを録画することができます。カギをこじ開けるなどの衝撃が加わると、イベント録画に切り替わって録画されます。

録画する④

録画内容をリアルタイムで見る



本体のAV出力端子とカーナビなどのモニターをAVケーブルで接続するとリアルタイムで録画内容を確認できます。AVケーブルが運転の邪魔にならないように取りつけてください。また、モニターの電源は別途ご準備ください。

AVケーブル：3.5φ3極ケーブル（ケーブルは付属していません）

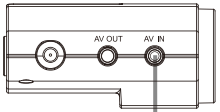
録画する⑤

リアカメラを使う

1．リアカメラについて　リアカメラ（別売）を使うことで、2チャンネル同時録画ができます。リアカメラがない1チャンネル録画時は30fpsで録画されますが、リアカメラ接続後の2チャンネル録画時は前方映像がHD画質で最大15fps、後方映像がVGA画質で最大15fpsで録画されます。

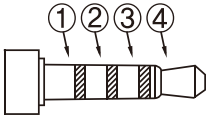
2．リアカメラの接続　リアカメラは本体側面にある映像入力端子（AV IN）へ取り付けます。その際コネクタの仕様は下記[A]のようなものとなります。ピンの仕様が合わないカメラを使うと、本体に影響を及ぼす恐れがありますので、取り付け前に必ずご確認ください。

本体側面



リアカメラ接続端子
（AV IN）

[A] コネクタ仕様（2.5φ端子）



① GND
② カメラデータ
③ NC
④ VCC 5V

microSDHCカード①

microSDHCカード使用時の注意事項

本製品に付属したmicroSDHCカードは本製品以外には使用しないでください。本製品に関連のないデータをコピーしたり個人的な目的に使用する場合、致命的なエラーまたはmicroSDHCカードのデータが削除される恐れがありますので、十分にご注意ください。本製品に付属されていないmicroSDHCカードで使用し問題が発生した場合には、責任を負いかねます。ご注意ください。

- ●microSDHCカードは録画データの信頼性のために定期的に交換することをお勧めします（年1回程度）。
- ●microSDHCカードを新しく導入する際は、必ず互換性の可否を確認して購入してください。
  詳しくは、http://www.dreamware.jp/driverecorder/をご覧ください。
- ●microSDHCカードを出し入れする際は、必ず電源ケーブルを抜くか、エンジンのかかっていない状態で行ってください。
- ●microSDHCカードの読み込みには、microSDHC対応のカードリーダーが必要です。
- ●microSDHCカードをSDHCカードに変換する「SDカードアダプター」は付属品として準備しています。

micriSDHCカードのエラーとフォーマット

1. 本体の△ボタンを7秒以上押すと、『microSDHCカードをフォーマットしますか』という音声が流れます。（+）ボタンを押すとフォーマットを開始し、（ー）ボタンを押すと、フォーマットしません。
2. microSDHCカードにエラーが発生した場合、自動で音声メッセージが流れますので、必要に応じて（+）ボタンを押してフォーマットしてください。ただし、フォーマットするとデータはすべて削除されますので重要なデータは必ずバックアップしてください。

   ※フォーマット完了までは数分かかります。フォーマット完了までは絶対に電源を抜いたりエンジンを切ったりしないでください。致命的なエラーが発生する恐れがあります。

microSDHCカード②

保存容量別のファイル生成数

microSDHCカード	駐車録画 最大ファイル数	イベント録画 最大ファイル数	常時録画 ファイル数	録画時間 目 安
4GB	30個	10個	残りは1フォルダ当たり10ファイルを生成	約1時間40分
8GB	100個	30個		約3時間20分
16GB	200個	60個		約6時間40分
32GB	300個	90個		約13時間20分

※4GB未満や32GB以上の、microSDHCカードは使用できません。

※録画時間は車内環境や保存される状況によって多少の差があります。

※録画時間目安は、連続走行した場合の目安です。エンジンを切ったり、駐車モードで録画した場合は、録画時間が短くなったり、長くなったりします。

常時録画はファイル1つに約1分の映像が記録されます。イベント録画はファイル1つに約30秒の映像が記録されます。駐車録画は1つに約30秒から1分の映像が保存されます。

常時録画ファイルとイベント録画ファイル

1. 本製品は常時録画ファイルとイベント録画ファイル、駐車録画ファイルの3種類が保存されます。容量がいっぱいになると、一番古いデータから上書き保存されます。
2. 一番古いファイルから順次上書きされるため、重要なデータは定期的にパソコンやCD-Rなどにバックアップしてください。

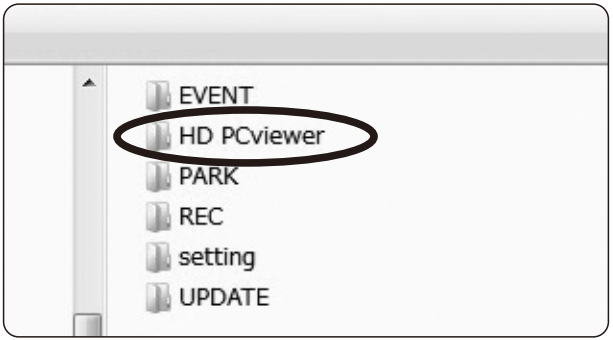
ボタン動作・音声案内・LEDランプ一覧表

内　容		ボタン動作	音声案内	LEDランプの状態
電　源	ON	—	システムを開始します	紫色　点灯
	OFF	—	システムを終了します	紫色　点灯
録画状態	GPS受信時	—	GPS情報を受信しました	赤色　点灯
	GPS未受信時	—	—	赤色　点滅
microSDHCカードが挿入されてない		—	SDカードを挿入してください	青色点滅
microSDHCカードの不良		—	SDカードを認識できません	青色点滅
micro SDHCカード フォーマット	開始動作	△ ボタンを7秒以上押し続ける	SDカードをフォーマットしますか	青色+赤色　交互点滅
	フォーマット開始動作	+ ボタンを押す	SDカードをフォーマットします	青色　点滅
	フォーマット取消	— ボタンを押す	SDカードをフォーマットしません	—
ソフトウェアのアップデート		アップデートファイルがmicroSDHCカードに入っていれば、自動的にアップデートします	アップデートモードです	紫色　点滅
音声録音	ON	+ ボタンを3秒以上押す	音声録音を開始します	紫色　2回　点滅
	OFF	+ ボタンを3秒以上押す	音声録音を終了します	紫色　2回　点滅
ボリューム調節	+	+ ボタンを押す（10段階調節）	メロディ　「ティロン♪」	—
	—	— ボタンを押す（10段階調節）		—
イベント録画	自　動	—	メロディ　「ティロリロリン♪」	青色　2回　点滅
	手　動	△ ボタンを1秒間押す		青色　2回　点滅
駐車録画モード	ON	— ボタンを3秒以上押す	駐車モードで録画します	青色+紫色　交互点滅
	OFF	— ボタンを3秒以上押す	駐車モードを解除します	—

本製品の動作仕様は製品のアップデートによって変更される場合があります。ご了承ください。

専用viewerをPCにインストールする

1. 本体に挿入されているmicroSDHCカードをパソコンのSDカードリーダーに差し込みます（必要に応じて外付けの接続アダプタなどを使用ください）。
2. microSDHCカードを差し込んで該当のドライブをクリックすると次の画面が現れます。



3. HD PCviewerフォルダをPCの任意の場所にコピーします。インストールはそれで完了です。
4. フォルダの中の「HD PCViewer.exe」をクリックすると、PCviewerが起動します。

※HD PCviewerフォルダ内のデータは消去しないでください。PCviewerが起動しなくなります。

※HD PCviewerを消してしまった場合やmicroSDHカードをフォーマットしてしまった場合は、http://www.dreamware.jp/driverecorder/から専用viewerをダウンロードしてください。

専用viewerの使い方①

専用viewer[HD PCViewer.exe]を起動すると、下記のような画面が表示されます。

1	再生映像	13	ボリューム調整
2	GPS 連動地図	14	走行スピード
3	地図拡大	15	録画種別選択
4	再生時間バー	16	再生ファイルリスト
5	3Gセンサー情報	17	再生ファイルを開く
6	前のファイルを再生	18	再生画面を保存
7	コマ戻しで再生	19	動画像を保存
8	再生・一時停止	20	再生画面を印刷
9	コマ送りで再生	21	環境設定
10	次のファイルを再生	22	全画面表示
11	再生速度調整	23	バージョン情報
12	明るさ調整		

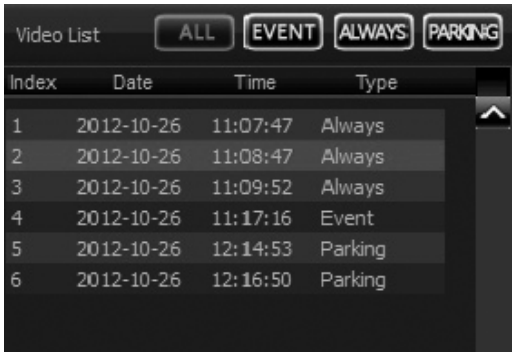
専用viewerの使い方②

ファイルを再生する

1. アイコン をクリックし、microSDHCカードのドライブを指定し、右下のOKをクリックします。記録の古い順にデータが並びます。

   ※この際に、ファイル名をクリックすると、ファイルが1つしか再生されませんので、microSDHCカードのドライブを指定すると、連続再生されます。

2. リストから再生したいファイルをダブルクリックすると、映像が再生されます。



Type （録画状態の種類）	常時録画	Always
	イベント録画	Event
	駐車録画	Parking
Date / Time	映像が保存された日時の表示です	

※全データを時系列に沿って並べたい場合は、microSDHCカード自体を指定してください。
常時録画･イベント録画･駐車録画がグループごとに時系列に沿って、ファイルが並びます。

専用viewerの使い方③

地図との連動

1. GPS情報が受信されていると再生時に自動的にGoogle マップで走行位置を確認できます。
   ※インターネットができる環境でのみ、地図が表示されます。
   ※GPSの受信が悪い場合は、録画映像のみが表示され、地図は表示されません。

専用viewerの使い方④

2チャンネル機能

2チャンネルで録画した映像を再生すると、viewerの映像右下に「FRONT」「REAR」「ALL」と表示が出ます。
「FRONT」を押すと、本体カメラの映像のみを再生し、「REAR」を押すと、本体に接続した後方（車内）の映像のみを再生し、「ALL」を押すと、下のように前方及び後方の映像を同時に再生します。

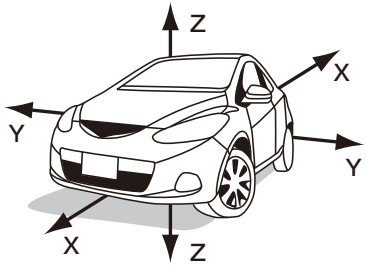
※リアカメラを接続している場合のみ可能です（詳細は14ページ）。

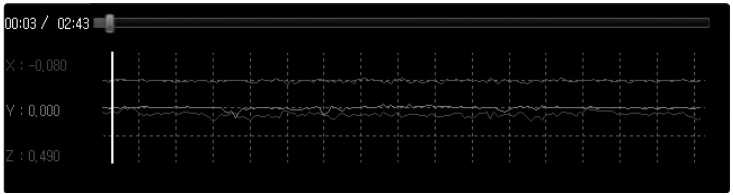
※1チャンネルのみの撮影時は30fpsで録画していますが、2チャンネル時は最大で前方15fps、後方15fpsで録画します。

専用viewerの使い方⑤

3Gセンサーのデータ分析

3GセンサーはX,Y,Z軸の値を抜き取り、専用viewerでその値をグラフに表示します。
グラフを通してドライバーの運転のクセなどを分析することができます。ただし、グラフの曲線は車種や路面状態によって多少異なります。**→3Gセンサーの感度調整は24ページ参照**





X軸 →車両の前後方向　**Y軸** →車両の左右方向　**Z軸** →車両の上下方向

再生画面の印刷、画面の保存、動画の保存

をクリックすると、再生している画面を印刷することができます。

をクリックすると、再生している画面をJPEGファイルで保存することができます。

をクリックすると、再生している映像の一部を指定して、MPEG4形式で新たに保存することができます。

専用viewerの使い方⑥

環境設定と反映の仕方

1. をクリックすると環境設定画面が表示されます。
2. 下記図①にてmicroSDHCカードが挿入されているドライブを選択し、右表を参考に各値を調整してください。
3. 設定が終わったら必ず[保存]をクリックしてください。
4. 上記のmicroSDHCカードを本体に挿入します。
5. エンジンをかけ、本体に電源を供給すると設定内容が記録されます（設定内容を記録するのに若干時間を要します）。

※必ず3～5の手順を行ってください。

	名　称	内　容
①	SDカード ドライブ選択	microSDHCカードのドライブ選択とフォーマットを行います。 ※以降の設定を保存するために必ずmicroSDHCカードのドライブを選択してください。
②	録　音 オプション	映像だけの保存か、映像と音声をどちらも保存するかを選択します。
③	保存フォルダ	再生キャプチャー画像をJPEGで保存するフォルダを選択します。
④⑤	時刻設定	時刻を設定します。
⑥	3Gセンサー 設　定	3Gセンサーの敏感度を設定します（0～10）。0は3GセンサーOFFで、1が一番鈍感で、10が一番敏感です。 10にすると、車種、路面の状態により過敏に反応し、すぐにイベント録画になることがあります。テスト走行して調整してください。
⑦	ボリューム 設　定	操作音の音声メッセージの音量を調節します（0～10）。0はミュートモードになり、音声を出す場合は1－10の間で調整してください。
⑧	駐車モード	駐車モードで録画を開始する時間を設定します（停車時から○分後）。0にすると、駐車モードがOFFになります。
⑨	初期化	「Default」を押すと、工場出荷時の値に戻ります。

※本製品は出荷時に適切な3Gセンサーレベル、ボリュームレベルが設定されています。通常ご使用の場合は、改めて設定していただく必要はありません。

※3Gセンサーレベルはイベント録画に大きな影響を及ぼします。特に0にした場合はオフになりますので、ご使用の環境でどうしても必要な場合にのみ、再設定を行ってください。

ソフトウェアのアップデート

本製品は製品改善のため、ソフトウェアをアップデートする場合があります。アップデートのための作業は、ご自身でお願いいたします。出張等によるアップデートサービスは行っていません。更新は不定期です。

1. 専用HD PCviewerのアップデートHttp://www.dreamware.jp/driverecorder/から専用HD PCviewerをダウンロードしてください。
2. 本体のソフトウェアのアップデートHttp://www.dreamware.jp/driverecorder/からソフトウェアをダウンロードしてください。microSDHCカードの「UPDATE」フォルダに「OT_LUCY_ORACOM.bin」ファイルを保存します。製品にmicroSDHCカードを入れて電源を連結すると、紫色のランプがつき、『アップデートモードです』という音声が流れてダウンロードが始まります。完了したら、再起動を始め、自動的にシステムが開始されます。

   ※アップデート中は電源ケーブルを外したり、エンジンを切らないでください。データが壊れる場合があります。
3. 取扱説明書のダウンロード新しい取扱説明書が更新された場合Http://www.dreamware.jp/driverecorder/から取扱説明書をダウンロードできます。

上記内容はすべて不定期で更新されます。

製品仕様

名称／製品型番	Drive PRO／V2-HD1	記録データ	日時、速度、3Gデータ、映像ファイル	
カメラ撮像素子	1/3.2inch　CMOSカラー	音声録音	○（ON/OFF設定可能）※初期設定はOFF	
カメラ接続	後方カメラ1ch接続可能（VGA画像）	音声案内	内蔵スピーカー(Mono）日本語による音声案内	
画素数	有効画素数200万画素	スピーカー出力	0.9W　8オーム	
画角	水平：112.5°垂直 ：81.3° 対角：150°（HD適用時　約110°）	GPS	U-BLOX6	
		本体寸法（mm）	99×62×31mm　※ブラケット除く	
画像解像度	1280×720ピクセル	重　量	80g	
録画記録方式	MPEG4ファイル	専用Viewer パソコン 推奨環境	ＯＳ	Windows XP, Windows Vista, Windows 7以上
ビデオ出力	3.5φ3極ケーブル(ケーブルは付属していません)		グラフィック	XGA（1024×768）以上の 解像度
電源電圧	DC12V～24V（マイナスアース）		CPU	Pentium4 2.4GHz及び 同等以上
自動電源オフ	11.8V以下で自動電源オフ		メモリ	Windows XP, 128MB以上
動作温度範囲	−20°～+70°			Windows Vista 32bit/64bit, 512MB以上
動作湿度範囲	10%～75%（ただし結露なきこと）			Windows 7 32bit , 2GB以上
フレームレート	1ch時：HD30fps(max) 2ch時：HD15fps(max)+VGA15fps(max)		インター ネット 推奨環境	768kbits／秒（google推奨）
記録方式	常時録画、イベント録画、駐車録画			
イベント 録画方式	事故前後の15秒（計30秒）を イベント録画フォルダに記録			
記録メモリ	microSDHCカード対応（推奨カードあり） 4GB～32GB　16GBカード付属			

保　証　書

型　番	V2-HD1
お客様の名前	フリガナ
住	〒 TE
お買い	月
保 証 期 間	1 年
販 売 店 名	（お願い）お買い上げ日、販売店名、及び品番のわかる伝票、領収書等がありましたら、ここに貼り付けて大切に保存してください。

SAMPLE

<保証規定> 次のような場合には保証期間内でも有償修理になります。

- お買い上げ後の輸送･移動･落下等による故障
- 取扱説明書の注意事項をお守りいただけなかった原因による故障
- 火災･塩害･異常電圧･地震･雷･風水害･その他天変地異などによる故障
- その他、製品自体の欠陥ではない外部原因による故障
- 当社サービスセンターの修理技師ではない者が修理または改造し故障した場合
- 日本国外での使用は保証の対象外となります。

※ お買い上げ日、販売店名欄が記載漏れの保証書は無効となりますので、必ず購入店に記載してもらってください。

※ 保証期間終了後は有料にて修理･交換をさせていただきます。

Dream Ware 株式会社ドリームウェア
〒163-6023 東京都新宿区西新宿6-8-1 新宿オークタワー23F
TEL：03−5323−0222 FAX：03−5909−1777
URL：http://www.dreamware.jp/

MADE IN KOREA
V2-HD1 13212102